

**製品名: GAD2 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81524**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	65.4kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GAD2
別名	GAD65
遺伝子 ID	2572.0
SwissProt ID	Q05329
免疫原	大腸菌で発現したヒト GAD2 (AA: 1-100) の精製組換え断片。

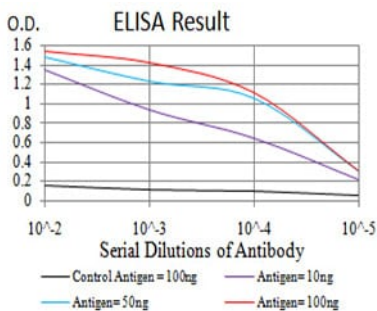
**背景**

この遺伝子は、インスリン依存性糖尿病における主要な自己抗原として同定されているグルタミン酸脱炭酸酵素の複数の形態のうちの一つをコードしています。コードされている酵素は、L-グルタミン酸から  $\gamma$ -アミノ酪酸を生成する触媒を担っています。この酵素

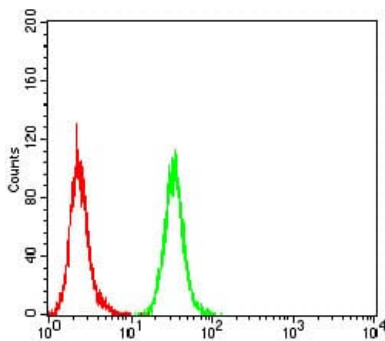
は、インスリン依存性糖尿病における自己抗体および自己反応性 T 細胞標的として同定されているため、ヒト膵臓において病原性を示すことが確認されています。この遺伝子は、スティッフマン症候群にも関与している可能性があります。選択的スプライシングにより、同じタンパク質をコードする複数の転写産物バリエーションが生じます。

## 研究分野

## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



GAD2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。